

指定管理者総括調書（令和５年度）

基準日 令和 6年 3月 31日

施設名	大牟田市立多目的活動施設リフレスおおむた		
担当部署	市民協働部生涯学習課次世代育成担当	電話番号	0944-41-2864

I 指定管理者の情報

指定管理者名及び代表者名	公益財団法人 熊本YMCA 理事長 光永 尚生		
指定管理者の所在地	熊本県熊本市中央区段山本町4番1号		
指定期間	令和4年	～	令和8年
指定管理者種類	☐ 市内企業 ☐ 市外企業 ☐ NPO・ボランティア団体等 ☐ コミュニティ組織等		選定方法
	☒ 財団法人・社団法人・社会福祉法人・医療法人・学校法人等 ☐ その他		公募
業務の範囲	①「青少年の多様な体験活動の充実」「市民の生涯学習・生涯スポーツの充実」「広域的な地域住民の交流」の3つの柱に基づく事業の実施 ②施設の利用許可及び相談に関すること ③社会教育事業に関する情報の収集及び提供 ④施設、整備、備品等の維持管理及び保守点検等		

II 施設の情報

所在地	大牟田市大字四ヶ1221番地			施設 の 設 置 目 的	市民の文化、スポーツ及び教養の向上並びに青少年の健全育成のための野外活動の充実を図るとともに、広域的な住民の交流の場を確保し、もって生涯学習の振興に資するもの。	
設置年月	平成11年3月	増改築年月				
施設の設置根拠	大牟田市立多目的活動施設リフレスおおむた条例					
施設の概要	敷地面積	20,620	m ²			
	延床面積	2,100	m ²			
施設の概要	・「学習棟」・・・1階 研修室A・B・C(定員各33人), 音楽室(15人), 創作室(32人), 地域交流室(35人) 2階 和室A(25人), 和室B(33人), 和室C(15人), 料理室(30人) ・「体育館」・・・アリーナ, クライミングウォール ・「キャンプ場」・・・バンガロー 1棟(6人), 常設テント 10張(10人), テントサイト 17ヶ所, 炊飯棟 2棟, トイレ棟 2棟, 倉庫 2棟 ※常設テント(開設時 15張)については、5張撤去済み。 ・「遊びの広場」・・・キャンプファイヤー場 ・「駐車場」・・・大型車(2台), 普通車(25台), 障がい者専用スペース(2台) 令和5年9月より普通車(13台), まごころ駐車場(2台)増設 ・「学習田」					
実施事業の概要	第1・3月曜日、12/29～1/3		開館時間	9:00～22:00		
	必須事業	①青少年の野外活動事業(リフレス がまだす隊・リフレス なんでもやる隊) ②長期宿泊体験事業(リフレスキャンプ:ファミリーデイキャンプ・サマーキャンプ・ウィンターキャンプ) ③野外活動指導者等養成事業(キャンパーズコネクション) ④青少年団体支援事業(レクリエーション指導・楽しいキャンプファイヤー指導) ⑤関係団体と連携した自然体験事業(春の野草を食べよう・星空観察会(夏、冬)・ほたる観察会) ※星空観察(夏)は台風接近により中止 ⑥学習の相談及び支援(青少年のボランティア活動支援・プログラムの相談とアドバイス) ⑦社会教育事業に関する情報の収集及び提供(社会教育関連情報収集発信)				
		提案事業	・陶芸教室(大人対象・親子対象) ・リフレスクッキング教室 ・物づくり教室 ・ペン字講座「夏休み書道教室」 ・クライミング講習会 ・高齢者向け健康体操教室(フレイル対策プログラム) ・ヨガ&健康体操教室 ・HIPHOPダンス教室 Switch			
料金	利用料金制度	●有 ○無				

III 施設の利用状況

施設利用状況等の推移	区分			R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績
	開館日数	単位	日	340	336			
	施設の総利用者数等	単位	人	18,193	18,689			
	個別事業における利用状況等の推移							
	必須事業数			14	14			
	必須事業入場者(延べ人数)			648	558			
	提案事業数			9	9			
施設利用状況等の推移	提案事業入場者(延べ人数)			503	803			
利用料金収入	施設の利用料金収入	単位	千円	3,258	3,775			

Ⅳ モニタリング結果
管理運営評価シートの結果

評価結果	227点 / 285点 (平均:4.0点)	I 施設の運営	122点 / 150点
		II 施設の管理	96点 / 120点
		III 継続性・安定性	9点 / 15点
		IV その他	0点 / 0点

モニタリング項目に関するコメント

	コメント
I 施設の運営	開所時間・休所日について、「大牟田市立多目的活動施設リフレスおおむた条例」(第4条・第5条)に定められている開所時間及び休所日から変更(閉所時間を21:30→22:00に延長。休所日を毎週月曜日→第1・第3月曜日に変更。)をし、利用者に対するサービスの拡充が図られている。 令和5年度は5月から新型コロナウイルスが5類となり、ほぼ予定通りに事業を実施することができている。必須事業については天候不順により中止となったものもあったが、順調に進められている。また、提案事業も積極的に取り組まれている。 利用者アンケートに対する集計結果(自己評価等)については、職員間で共有し施設の運営改善に役立てられているが、今のところ公表するほど特に緊急性のあるものはないため、アンケートの一般公表は行っていない。
II 施設の管理	個人情報の管理、緊急時の対策、施設の維持管理業務など適切に管理されている。 また、災害発生時の対応(避難所の対応)についても、「大牟田市地域防災計画」に定める指定避難所、自主避難所及び緊急指定避難所としての機能を十分に発揮するため、大牟田市、消防、地域団体等と連携し対応している。
III 継続性・安定性	適正な会計処理がなされており、事業目的に適合した収入・支出となっている。 収入や利用者は令和4年度と比べると増加しているが、依然としてコロナ前の水準までは戻っていない。また、施設管理を行う運営母体の経営状況についても、公益性のある公益財団法人であるものの、継続性・安定性の観点からは、経営状況が厳しい状況であると判断される。
IV その他	

総 評
平成19年から現法人が指定管理を行っており、現法人は他の施設の運営実績も豊富なことから、管理や運営に関する十分なノウハウを基に施設の管理・運営が良好に行われている。アンケート結果からも、利用者の満足度は総じて高い。 収入、利用者数はコロナ前の水準までは戻っていないため、利用者の増加が課題である。ただ、提案事業に積極的に取り組まれることで、前年比では増加に転じている。来年度以降の動向に注視したい。 また、四ヶ地域の関係団体との協働で事業を行うなど、友好関係を継続して保ちながら、地域住民・団体との交流の場としての役目を果たしている。 今後も各種事業を通して、青少年が社会性・自主性を養うと共に、生きる力の育成を図ることができる施設としての役割を、より一層果たすことに期待する。